

学苑



旭祭



硬式野球部



自動車部

vol.160
特集!

東京電機大学

就職キャリア支援

ハイブリッド学園祭

第10回旭祭・第45回鳩山祭

2021年度

授業の実施形態と学生団体の活動状況について

Topics

イベント参加支援結果発表

TDU Space Project

硬式野球部

自動車部

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症(以下、Covid-19)により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますと共に、感染された方々やそのご家族、不安の中におられる全ての方に心よりお見舞い申し上げます。さて、各地で緊急事態宣言が発出され、日常の生活に大幅な制約を受けていた中、後援会は大学教職員の皆さまと連携を密に取り合い、感染防止に最大限の配慮をしながら活動を行ってまいりました。



後援会長
庄本 玲子

【総会】

5月に開催する総会は、評議員が一堂に会する通常形態での実施が困難であった為、2021年度事業計画案及び予算案は役員会にて慎重に審議し、計画及び予算を承認しました。

【常任評議員会】

7月と9月の常任評議員会では、父母懇談会の開催について検討し、また学生のイベント活動への資金支援を決定し、本誌「学苑」の委員委嘱を行いました。

【父母懇談会開催事業】

後援会の主要イベントであります「父母懇談会開催事業」は、例年は皆さまに大学キャンパス又は地方懇談会の会場にご来場いただき、面談、後援会の紹介・大学現状の説明会、懇親会、キャンパス見学会など長時間ご滞在していただきました。

今年は会場の滞在時間を短縮しCovid-19の感染防止対策を各会場で講じた上で、個人面談及び個別相談のみを実施し、冊子「2021年度父母懇談会」の配布により、後援会の紹介・大学の現状及び就職実績などをご紹介する事にいたしました。冊子は30ページにも及び充実した内容となっておりますので、是非ご覧ください。

一方、Covid-19の感染者が増加傾向にあり、緊急事態宣言の対象地域が拡大していた為、大変残念ですが9月及び10月3日に予定されておりました開催をやむを得ず中止とさせていただきます。「システムデザイン工学部(千住キャンパス・9/11)」、「理工学部(鳩山キャンパス・9/11)」、「未来科学部(千住キャンパス・9/25)」、「仙台会場(9/26)」、「新潟会場(10/3)」にご参加のお申込みをいただいた皆さまには、ご迷惑をおかけいたしました。

その後、緊急事態宣言が解除されたことから、キャンパス会場は10月9日以降、地方会場は10月10日(札幌)以降の会場で順次開催しております。この度の開催に向けてご尽力いただいた教職員の皆さま及びご来場いただいたご父母の皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

開催された会場の学部教員との個人面談ではご子女の成績や進路について、専門職員との個別面談では奨学金、学生生活、就職について熱心にご相談されていらっしゃいました。

これからご参加されるご父母に於かれましては、教職員と親睦を深める絶好の機会ですので、日ごろ感じておられることやご不明な点がございましたらお気軽に

お話しいただければと存じます。

なお、各会場では後援会の役員が受付を担当いたします。後援会のメンバーも大学生の父母の一人として皆さまとの会話を楽しみにしておりますので、ぜひお声がけ下さい。

【広報活動】

次に「広報活動」としては、大学やキャンパス、学生の様子をお届けする情報誌「学苑」を発行し7月と11月(本号)にご父母にお届けいたしました。次号は2月に発行する予定です。

また、大学ホームページの「在学生・保護者の方」には「東京電機大学後援会」のページを掲載しております。父母懇談会のスケジュール、後援会会則などが閲覧できますので、ご覧いただければ幸いです。

【学生支援活動】

最後に「学生支援活動」では、イベントへの参加支援の審議を行い、6つのプロジェクト及び部活に資金支援を行うこととしました。昨年度はCovid-19の影響で各種イベントの中止や、学生団体の活動が認められなかった為、支援をすることができませんでした。今年はクラブ活動も再開され、援助できることを喜ばしく存じます。

学内環境整備はCovid-19対策用として、アルコール消毒液、非接触体温計、事務窓口用パーテーション、ソーシャルディスタンスフロアマットの購入費用を補助いたしました。

また毎年継続している「こころとからだのサポート24」は、業務委託費用の一部の補助をいたしました。学生のみならずご父母・保証人も24時間いつでも無料で「こころとからだ」に関する相談が電話でできますのでご活用ください。

【特別事業】

寄付の使途を奨学金と指定した上で、東京電機大学サポート募金に300万円を寄付させていただきました。Covid-19の影響による家計急変の為、勉学の継続が困難となった学生の経済的支援を行う事ができました。

後援会活動は、学生一人一人のかけがえのない学生生活が少しでも有意義なものとなるように、ご父母・保証人と教職員が一丸となって学生を支援する活動です。コロナ禍に於いても後援会の所期の目的を達成するため、工夫を凝らして務めさせていただきます。

引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

後援会活動のお知らせ

父母懇談会のご報告いたします

父母懇談会は新型コロナウイルス感染拡大状況を注視しながら、キャンパス会場と地方会場で開催しております。

9月に開催を予定しておりましたシステムデザイン工学部対象父母懇談会、理工学部対象父母懇談会、未来科学部対象父母懇談会、仙台父母懇談会及び10月3日に開催を予定しておりました新潟父母懇談会については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を鑑み、中止させていただきWEBのご相談フォームからご相談を受け付ける形式に変更いたしました。

10月の父母懇談会の開催状況は、以下のとおりです。

【東京千住キャンパス】

東京千住キャンパスにおいては、10月9日(土)に感染防止対策を徹底したうえで、工学部・工学部第二部1・2年生対象父母懇談会が開催され、個人面談や個別相談にご参加いただきました。

【地方会場】

10月10日(日)に札幌会場、10月17日(日)に博多会場、10月24日(日)に水戸会場、10月31日(日)に岡山会場にて、感染防止対策を徹底したうえで開催しました。それぞれ県内からのご出席のみならず、県外からのご出席をされたご父母もおられました。

開催日	会場	対象学部	出席組数	出席人数
10月9日(土)	東京千住	工学部・工学部第二部 1・2年	140組	192名
10月10日(日)	札幌	全学部	5組	8名
10月17日(日)	博多	全学部	6組	8名
10月24日(日)	水戸	全学部	16組	25名
10月31日(日)	岡山	全学部	6組	10名

キャンパス会場

●副会長 楠 夕子 10/9 工学部・工学部第二部1.2年会場

2021年度父母懇談会は新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染状況も減少傾向にあることを踏まえ、工学部1.2年父母懇親会は東京千住キャンパス会場にて開会することができました。

直接大学の先生方と個人面談のできる機会はとても貴重なことと感じました。参加された父母の皆様も笑顔でお帰りになりました。キャンパス内の見学は出来ず、来年は出来たらと思います。

地方会場

●副会長 石坂 繁美 10/10 札幌会場

緊急事態宣言が明けてすぐの紅葉も美しい札幌で父母懇談会が無事開催となりました。「教授に励ましていただき不安が解消しました」とほっとされている方、コロナ禍での就職状況を熱心に聞かれていた方、皆さま笑顔で帰られる姿が印象的でした。個人面談のみでしたが対面で実施できたこと、本当に嬉しく思います。

●会長 庄本 玲子 10/17 博多会場

福岡コロナ警報が解除された最初の日曜日の為か、福岡の中心地、天神はマスクをつけた多くの若者や観光客でにぎわいを見せておりました。そんな中、博多会場は天神駅から徒歩6分の交通の便の良いホテルで開催されました。

出席予定のご父母は皆様全員がご参加され、教員との面談では熱心にお話しをされていたりしました。懇親会はございませんでしたが、面談の後は専門の職員による相談ブースにもほとんどのご父母にお立ち寄りいただき、有意義な会となりました。毎年ご参加されているご父母もおられ、和やかに談笑しているご様子もみられました。教職員による事前準備と参加者の感染防止対策へのご協力により、無事に博多会場で開催することができ、充実した学生生活を送るためのお手伝いできたことは何よりでした。

●副会長 飯島 智子 10/24 水戸会場

今年度は、アルコール消毒、検温をお願いしてからの受付となりました。なので、ご父母同士での交流などはなく少し寂しく感じましたが、面談後に皆様がとても明るい表情でお戻りになり、挨拶をされ帰られたので、充実した時間を過ごされたのだと嬉しく思いました。

ハイブリッド 学園祭

2021.10.30 SAT >> 10.31 SUN



旭祭

「X展」

第10回 旭祭

実行委員会委員長 寺迫 駿

この度は後援会の皆様には、旭祭をご支援いただき誠にありがとうございました。

今年で新型コロナウイルス(以下、コロナ)が流行し始めて二年目になり、私たちの生活様式が大きく変わりコロナと共存する生活に変化しました。そのため、去年とは状況が変わり、私たち実行委員会は新たな試みとして、去年同様YouTubeライブと一部を対面で企画を行うハイブリッドという新しいタイプの学園祭として開催することができました。

本祭1日目ではe-sports、部活動紹介、旭祭実行委員会によるロケ企画の放送を行いました。e-sportsでは去年問題点であった放送のラグを改善し、より見やすい配信に変えることに成功しました。部活紹介では多くの参加団体に協力していただいたおかげで面白くて、興味深いコンテンツが揃いました。ロケ企画では、北千住駅周辺の様々なお店が協力してくださったため、地域の向上に少しでも繋がればと考えています。

また、2日目では毎年恒例のアサイン直さんとLIPさんにMCを務めて頂きました。大きなイベントであるトークショーでは声優の田中美海さんと芹澤優さんにお越しいただきました。

今回の学園祭は、放送委員会と学生厚生の皆様の支えや、外部企業のWAN55さん、GEKIRINさん、Cwaveさんのおかげで無事に旭祭を終えることができました。本当にありがとうございました。また、新しく入ってきた1、2年生は文化祭の経験がない中で積極的に協力をしてくれて、3年は人数が少ないなか支えあってくれたからこと成り立ったと感じています。準備期間、本祭、片づけ日の5日間何事もなく終わることができてほんとに良かったです。

来年度以降旭祭の開催形態がどうなるか分かりませんが、地域の皆様や大学関係者の皆様のご協力のもと、よりよい学園祭を行えるように目指してまいりますので、今後とも旭祭実行委員会へのご支援をよろしくお願いいたします。



今年の東京電機大学学園祭は、「コンパス」というテーマのもと、オンラインと対面のハイブリッドで開催することとなりました。このテーマは、コンパスが描く綺麗な円を一人一人の個性に例え、みんなが一つの輪になって永遠に思い出が残る旭&鳩山ハイブリッド学園祭を作っていくという考えから生まれたものです。

鳩山祭

「広げよう、人の輪」

第44回 鳩山祭

実行委員会委員長 福原 唯冬

このたびは、このご時世の中、後援会の皆様に学園祭をご支援いただき、心より深く感謝申し上げます。

今年の鳩山祭は10月30日(土)・31日(日)の2日間、開催いたしました。今年は、学内関係者のみ対面で一般の方にはYouTubeで楽しんでいただくハイブリッド学園祭を開催いたしました。初めての試みで不安や心配がありました。旭祭実行委員会の方々と話し合いをし、協力し合いながら無事に成功することが出来ました。

また今年の鳩山祭のテーマは、「広げよう、人の輪」でした。これは、コロナ禍で大学に登校することが出来ず、大学での交流が出来ない日々が続き、そのことを鳩山祭で少しでも人の輪を広げられるようにという思いでテーマが決まりました。

今年度は、昨年度と同様に「ファイヤーダンス」は行えませんでした。「お笑いライブ」や「声優トークショー」、数多くの学生団体の企画が行えました。これらを成功させるために実行委員会内でオンライン会議

を行い奮起しました。

その他にも旭祭実行委員会とオンライン会議を行い、昨年同様、連携を強めより良い学園祭を開催するために意見を交わし、助け合いながら学園祭まで準備をしてきました。

今年は昨年に引き続き鳩山祭実行委員会の中だけではなく旭祭実行委員会とも交流を深めより良い関係が築けたと感じています。またこの関係を次の鳩山祭実行委員会にも引き継いでいってほしいと感じます。

来年度の鳩山祭開催形態は、未定です。対面での開催になった場合では、初めての経験なので色々な壁にぶつかると思います。しかし、オンラインやハイブリッドで学んだ経験を活かして奮起してくれると思います。また対面開催以外になったとしても素晴らしい鳩山祭を作り上げてくれると思います。次年度以降の鳩山祭にもぜひお越しく下さい。





東京電機大学

就職キャリア支援

～一人ひとりに合わせたキャリアデザインをサポート～

■入学時からのキャリアデザインをサポート

将来の自分の進路を考えるために、入学時から受講できる「TDUキャリアデザインガイダンス」を開催しています。本格的に就職活動を開始するのは学部3年生、大学院1年生になりますが、自分の進路を決定する際に必要となるのがキャリアデザインのためのガイダンスです。このガイダンスに参加することで、1年次より段階的に自分と向き合い、知見、知識、人格形成に役立てることが出来ます。年間を通して開催しています。

キャリアデザインガイダンスのご紹介

- お金について知ろう
- コミュニケーション力を高めよう
- 自分の強みを知ろう
- 乗り越える力を身に付けよう
- 深く考える力を身に付けよう 他 (約20講座を開催)

■本格的な就職活動が開始

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年同様ガイダンスやセミナーはすべてオンラインで開催しています。すでに3年生に対する実践的な就職ガイダンスを開始しています。具体的には、採用選考に必要な自己PRの方法、履歴書作成、グループ面接対策、個人面接対策、SPI模擬試験、さらには先輩内定者の経験談を聞くなどのガイダンスを順次開催します。また、学生個々の疑問や不安解消などの相談ではオンラインを利用して、キャリアアドバイザーやジョブ・サポーター、就職担当の教職員が連携しながら対応しています。

年々早期化する企業の採用スケジュールに合わせて、大学での支援行事も例年より早めて開催しています。10月以降に開催している「業界研究セミナー」や「仕事研究セミナー」では100社以上の企業と交流を持ち理解を深めることができます。



■卒業生との交流「卒業生による仕事研究セミナー」を東京ビックサイトで開催

後援会よりご支援いただいております「卒業生による仕事研究セミナー」は、昨年度はオンラインで開催いたしましたが、今年度については2022年1月29日(土)に東京ビックサイトにおいて対面での開催を予定しています。会場となる東京ビックサイトは、初めての利用となりますが、これまで利用していた会場より1.6倍の広さに約300社の企業を招聘して開催します。

このセミナーの特徴は、本学卒業生が人事担当者と共に参加することで学生がOB・OG訪問をする気軽さで質問や相談ができることです。学生は、今まで会うことのできなかった卒業生との交流も期待できます。オンラインが主流となっているセミナーですが、あえて対面で開催することでリアルな体験をできることは貴重な機会です。社会人の方と話をすることが不慣れな学生にとって卒業生から貴重な情報を得られる絶好の機会になります。



コロナ禍だからできること

工学部 電気電子工学科

近藤 大輔さん

内定先

東海旅客鉄道株式会社

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

学生生活では、電気電子工学を学び、中でも電気機器という教科はどのように電動機や変圧器が動いているのか知ることができて興味深かったです。また、勉強以外でバイト、趣味(サッカー観戦、読書、アニメ等)に夢中になっていました。卒業研究では銅が多く使われているモーターでアルミニウムを使用し、どのようにすれば高効率化することができるのかという研究を行っております。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

就職活動を始めたときに自己分析をしと言われてましたが自分がどんな人が聞かぬのが恥ずかしくて何をしていたかわかりませんでした。就職活動が終わって思ったことは、たくさんのエントリーシート(以下、ES)をこなしていくことによって自分がどんな人間なのか知ることができたことです。企業によって聞かれることは様々です。なので、理系分野だけでなく様々な分野のESを書いて自分がどんな人間なのか見つけてみてください。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

私はコロナ禍で就職活動ができてよかったと思っています。なぜなら、企業説明や、インターン、面接などがオンラインで受けることができ、よりたくさんの企業のイベン

トに参加できたからです。多い時には一日に3社ほどイベントに参加したことがあります。しかし、実際に職場に足を運ぶことができなかつた企業もあるため働くイメージがわからない時もありました。

——就職活動中に、ご父母にしてもらってよかったことは何ですか。

就職活動をしていて両親にはたくさん助けてもらいました。特に父が理系出身で理系分野の企業に詳しくあったため自分が気になっている会社についてどう思っているのか客観的な意見を聞け、普通の就活生では見つけられない会社の特徴などを知ることができました。母は不安になっている自分を勇気づけてくれて自信を与えてくれました。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私もそうでしたが就職を考えたときにまず不安が押し寄せてくる学生さんがいると思います。たとえESや面接で落ちてでも「私を落とすなんてもったいないことしたな」くらいな気持ちで挑めばいいと思います。企業はごまんとあり、必ず自分の良さを分かってくれる人がいます。キャリアアドバイザーなどを活用し、いっぱい練習し、楽しみながら就職活動頑張ってください。





人生の第一歩を、力強く踏み出すために

理工学部 機械工学系

柿沼 陽さん

内定先

株式会社 SUBARU

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は4年間フォーミュラSAE^(※)プロジェクトに所属し、世界一を目指し、レーシングカーの開発やチーム運営のための会計、広報活動を行ってきました。私はこの活動に大学生活のすべてを掛けました。休日も学校に足を運び開発に熱中し、3度オーストラリア大会に参戦しました。主にサスペンションやフレームの設計に取り組んでおり、現在はチームリーダーを務め、メンバーを牽引しています。研究室は、自動車工学研究室に所属しておりフォーミュラSAE参戦車両の開発を題材に研究しています。

※ SAE=Society of Automotive Engineers

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

私はエントリーシート(以下、ES)を書く前に自分ができていることを書き出しました。誰でもあたりまえにできることから、フォーミュラSAEでの経験から培った自分ならではのことなどを紙に書き出すと自分の新たなアピールポイントが見つかります。自分では当たり前に行っていると考えていたことが、他の人にはない魅力になることがあります。また、会社選びについては興味のある企業に勤めている研究室のOBに連絡を取り、質問をさせていただきました。会社説明会よりもより深い内容の話聞くことができ、大変参考になりました。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

私は5社の採用面接を受けましたが、すべてオンライン

で実施されました。こちらの雰囲気が伝わり辛かったり、回線の不具合で面接官の質問が聞き取り辛かったりとオンラインならではの問題がありました。それでもできるだけ明るい雰囲気が伝わるようにカメラの向きや、照明を調整し、いつもよりも表情を豊かにすることを意識しました。また、回線の問題は相手方との相性もあるので、聞き取れなかった場合は焦らず、しっかりと聞き直し、自分のペースが崩れないよう意識しました。

——就職活動中に、ご父母にしてもらってよかったことは何ですか。

一人暮らしですので特に両親と就活について話すことはありませんでしたが、あまり就活について干渉されなかったことが私としてはプレッシャーにならず助かりました。両親としては心配だったとは思いますが、私を信じて就活については深く聞かず、報告を待っていてくれたことが嬉しかったです。無事、自動車メーカーへの内定を報告でき良かったです。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私はESや面接を通して、どれだけ企業の方が自分に期待をもって頂けるかを意識しました。文章でも言葉でもその企業でなにを成し遂げて、どう会社や世間に貢献していきたいのかを簡潔に伝えることが重要です。普段から文章を書くとき、誰かと話すときに明るく、わかりやすく、簡潔に自分の意思を伝えられるよう意識すると良いと思います。就職活動ではこれまで自分が頑張ってきたことが一番の魅力になります。何かを一生懸命頑張ってきたという経験は、自信になりますし、コイツはいい成果を上げてくれそうだという期待につながります。4年間の学生生活で情熱をもってなにかに取り組み、自分が自信を持つ強みや魅力を手に入れてください。



2021年度 授業の実施形態と学生団体の活動状況について

本学の2021年度における授業の実施形態と学生団体の活動状況についてご報告します。

◆ 授業について

1. 2021年度前期授業

(1)講義・演習科目……全在校生を学籍番号の奇数と偶数の2グループに分割し、原則、指定された週に1/2の分散登校

- ① 登校した学生はキャンパス内にて対面
- ② 登校を控えていただいた学生はオンラインコミュニケーションプラットフォーム「Zoom」を用いた授業を自宅等にて遠隔で受講

(2)実験・実習科目……講義・演習科目と同期した登校日に対面指導

2. 2021年度後期授業

キャンパスの事情により、授業形態の変更時期が異なります。なお、特別な事情により、既に講義・演習科目の遠隔授業受講を許可されている学生は、特段の手続なく、引き続き遠隔授業で受講可能です。

(1)東京千住キャンパス

- ① 後期授業開始日から10月4日まで……遠隔授業
- ② 10月5日から11月8日まで……1/2の分散登校
- ③ 11月9日以降……全員登校

(2)埼玉鳩山キャンパス

- ① 後期授業開始日から11月8日まで……遠隔授業
- ② 11月9日以降……1/2の分散登校(第13・14週目の定期試験実施日は原則として全員登校)

最新の情報につきましては、DENDAI-UNIPAでご確認ください。

(2021年11月22日現在)

◆ 課外活動について

1. 活動内容

- (1)学内での活動……2021年2月から学生厚生担当部署に事前承認を得ることにより許可
- (2)学外での活動……2021年2月から「大会要項で感染症対策が施されていること」等の条件により許可
- (3)体育施設や防音室等利用……2021年2月から学生団体が活動のガイドラインを作成し、学生厚生担当部署が許可

2. 新入生仲間作り支援

2021年4月に新入生ガイダンスでの説明会、学生団体のオンライン勧誘会を実施

3. 合同体育祭

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4. 学園祭

オンラインとオンキャンパスのハイブリッド形式にて開催(P3、4参照)

5. 後援会からの支援

- (1)東京千住キャンパス所属団体(工学部・未来科学部・システムデザイン工学部・情報環境学部63団体、工学部第二部18団体)に対して、合計509万円を補助
- (2)埼玉鳩山キャンパス所属団体(理工学部37団体)に対して、260万円を補助
- (3)イベント参加支援として、6団体(東京千住キャンパス所属3団体(ソフトテニス部・蹴球部・硬式野球部)・埼玉鳩山キャンパス所属3団体(東京電機大学フォーミュラSAEプロジェクト・TDU Space Project・自動車部))に対して、合計180万円を支援

◆ 新型コロナワクチンの大学拠点接種(職域接種)の実施について

本学に所属している学生・職員等を対象に、本学東京千住キャンパス及び埼玉鳩山キャンパスにおいて、8月30日から10月9日の期間に、新型コロナワクチンの大学拠点接種を行いました。この期間中、多くの学生が二回接種いたしました。

これからも学生のみなさんに安心して学業を続けていただけるよう、努力してまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

奨学金制度のお知らせ

東京電機大学では下表に示すように9種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス(学生厚生担当)まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	2020年度採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月下旬頃	学部 250,000円 博士課程 500,347円	—	学部62名 大学院(博士) 28名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	10～11月	1月下旬	年間授業料相当額 (大学院初年次のみ)	—	学部20名
学生応急奨学金 (給付)	学部在学中、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		50万円の範囲内で決定	—	学部0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部在学中、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の年 2回	7月下旬・ 11月下旬	学部 250,000円	—	14名
東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者 育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科 (社会人コース)に在籍 者は66,000円	—	74名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年 2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期(セメスター) 分の学費相当額。 奨学金は学費に充当 する。	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	0名 (申請者なし)
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲 で査定	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	0名 (申請者なし)
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の 年2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期の 学費相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事柄の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	随時。但し、学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい。		1回に納入する学費 等の相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	0名 (申請者なし)
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。	定期採用 4月	7月上旬	奨学金の種類等により 月額2万円～12万円 (学部)	卒業7か月後から 機構が定める 金額、期間で割 賦返済。	在学生の 約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。学部生のみ。	定期採用 4月	7月上旬	経済基準及び通学形 態等により 月額 12,800 円 ～ 75,800円	—	学部 約500名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間育英奨学団体の募集が数多くあり、毎年30名程度が利用。					

※今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期の募集時期・採用時期が一部変更となりました。



TDU Space Project

宇宙へ夢をつなぐ CanSat

理工学部 機械工学系 2年
奥井 英香

イベント参加支援結果発表



私達 TDU Space Project は、アメリカのブラックロック砂漠で開催される CanSat (缶サット) の国際大会 ARLISS (アーリス) で優勝することを目標に活動しています。CanSat とは、空き缶サイズの模擬惑星探査機の略称です。大会では上空 4000m までロケットで打ち上げ、パラシュートを展開し落下、パラシュートを分離し自律走行でゴールを目指します。機体が最終的に停止した位置とゴールまでの距離と、ミッション内容の独創性や達成度などが評価されます。

この活動は、「実際にものを製作することを通して技術に身に着け、社会に出て即戦力になる」ことを目標にしています。これは東京電機大学の建学の精神である「実学尊重」にも通じるもので、設計、製作、試験、広報などすべてを学生のみでできる活動は他にないと考えます。

現在チームでは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインとオフラインを組み合わせで活動しています。オンラインでの活動時間が増えても試験が出来なくなることがないように学生厚生の方には協力していただいております。本当に感謝しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度の ARLISS は中止となりましたが、その代替大会として11月に静岡で開催される ACTS (Asagiri CanSat Toukashiken) に出場しま

す。この大会では今までのミッションと同じく、落下から走行を通して最速でゴールする機体を目指しています。試験を重ね、より制御の精度を上げていくことでより速くゴールが出来るように改良しています。この記事が発行されるころには大会は終了していますが、残り少ない時間を有効に使い自分たちが作れる最高の機体を作れるように頑張ります！

また、3月に種子島で開催される予定の種子島ロケットコンテストでは、アイデアの独創性が重視されるため、今までの速さを重視した機体からサンプル回収のミッションを持たせた機体へと方針を変え、1位を目指します。そして、これら2つの大会で得た知識、技術と経験を活かして来年度の ARLISS で優勝を目指します！

今年は大学に入れない期間があったり、大会が延期になったりと環境に振り回されることが多かったですが、それでもこうして活動が続けられているのは後援会の皆様をはじめとする大学関係者の皆様のご支援があってこそだと思います。本当にありがとうございます。

私達の活動を通して、自分たちだけではなく CanSat を知らない人にもワクワクやドキドキを広げていけるよう頑張りますので、これからもご理解、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

硬式野球部

リーグ戦に向けて

工学部 電気電子工学科 3年

石橋 凌



今回出場するイベントに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が延期に延期を重ねていることから、10月22日現在では詳しい日程は新しく決まっていますがまだ開催されておりません。感染が拡大していたり、イベントで活動する場所が確保できていないことから本来の日程通りに事を運ぶことが難しいです。

今回のイベントは、東京新大学野球連盟によるリーグ戦のイベントであり、加盟校で総当たり戦を2回行います。加盟校は1から4部のリーグに分けられており東京電機大学は4部に所属しています。リーグ戦で優勝すると昇格戦に進むことができ、そこで勝利すれば一つ上の部に昇格することが出来ます。しかし今回は、上記で記載した通り本来の日程から大きく延期になっているので総当たり戦は一回だけに変更となり、昇格戦は行わずリーグ優勝した時点で自動的に昇格となります。

新型コロナウイルス感染症の影響はリーグ戦の日程だけではなく通常の活動を行うことにも影響がでており、全員が登校しないことや遠くから通学している部員がいるため、集まっての活動を行うことが難しく感染のリスクも高まってしまふことから、通常の活動が満足に行えていないのが現状

です。そのような中でも、集まっての活動が出来ない日は各自でリーグ戦に向けての取り組みに励んでいます。今回のリーグ戦の意気込みとしては、結果を出すことはもちろんですがリーグ戦が進むにつれてチームが成長できるようにしていきたいです。まだ直接会っている回数が少ないので、コミュニケーションをたくさんとって試合中の掛け声が遠慮気味にならないようにしたり、雰囲気が常に良い状態になればと考えています。コミュニケーションが円滑にとれたり、雰囲気が良くなることは直接的に試合には影響が出ませんが、個人の本来のパフォーマンスが出やすくなると考えているので、結果として試合の内容は良くなると思います。また、雰囲気が良くなることで仲が深まれば来年や再来年にも良い影響が出てくると思っています。

今回いただいたご支援に関しては、申請した通常の活動を行うための施設費で使用することは難しいですが、申請していた道具等には必ず使用させていただこうと思います。部員が少なく、アルバイト等が満足に行えていない部員もいるので今回のご支援にはとても助けられました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。

自動車部

史上最高記録を目指して

理工学部 機械工学系 2年

國府田 悠稀



私たちはホンダが主催する1リットルのガソリンで何キロ走れるか、という燃費競技の「Honda エコマイレージチャレンジ」、通称エコランに参戦しています。出場クラスは中学生、高校生、大学生、社会人、2輪車に分けられており、毎年全国から200チーム以上が参戦する大規模な大会です。

今年の6月19日に開催されたもてぎ大会では、私たちは大学生クラスと2輪車クラスに参戦しました。雨天の中行われたため路面状況が悪く、スピンしてしまうチームや視界不良のために他チームと接触してしまいリタイヤするチームがいる中、私たちのマシンはすべて完走し、大学生クラスでは2位と3位に入賞、2輪車クラスでは6位という結果でした。その後、次の10月23日に開催される全国大会で優勝するため、夏休みに現行のマシンを整備し、改良点を探していました。しかし、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大会は中止になってしまいました。

現在、全てのクラスを合わせた歴代最高記録が3644キロメートルとなっています。私たちはその記録を4000キロメートルに塗り替えることを目標に、新しいマシンの開発をしています。また、どのような改良をすればマシンの燃費が向上

するのかを確かめるため現行マシンの足回りやエンジンの改良なども行っており、大学に来ることが可能な日は早朝にテスト走行を行い、データの収集をしています。

来年の大会で目標を達成するマシンを作るために必要なことは「記録を出したい、勝ちたい」という気持ちの強さだと思います。エコランカーは軽量化を目指して設計されているため、1つ1つの部品が燃費の良し悪しに関わってきます。そのため、マシンコンセプトを考えるとどこから部品の設計製作まで気を抜くことができません。今後、チームメンバー同士でこの気持ちを共有し、協力しながら活動に取り組んでいきます。

これまでご支援頂いた皆様方、ありがとうございました。当チームは目標に向けて効率の良いマシンを設計製作していくので、これからもご支援よろしくをお願いします。

学部生紹介
Interview



「これまでの4年間とこれからの2年へ」

高木 泉希さん

工学部
情報通信工学科 4年

課外活動について

私は、「自治会執行委員会」という団体に所属していました。あまり聞き馴染みのない団体ですが、中学・高校の生徒会のような団体です。団体内では会計局長としては、主に活動費の振り分けや管理、年度末には収支報告の監査などを行っていました。お金の管理や監査を行うということは、それ相応の責任感が問われますが、同時に自分の仕事に誇りを持つことができました。またコロナ禍の活動では、今までの活動や後輩への指導がすべてオンラインになったこともあり、苦勞もしましたが、基本の報連相を徹底したことで乗り切ることができました。これらは学生では一生体験できないような経験であり、この委員会に所属したことで、かけがえのないものを得ることができたと思います。

研究について

私は、現在「暗号方式・暗号プロトコル研究室」という研究室に所属しており、主にサイバーセキュリティについて研究をしています。サイバーセキュリティと言えば近年注目されている分野ですが、分野への入門のハードルが高いことやコロナ禍も相まって、配属したての頃は不安でした。ですが先生からのアドバイス、研究室内の



先輩たちからの手厚いフォローにより、初歩的な部分から専門的な部分まで安心して理解することができました。また4年生からは、研究室内でオンライン勉強会をすることで、自分の知らない分野への理解を深めることができました。またこれらのおかげで、脆弱性の発見・報告を行い、その後ニュースサイトや大学のHPの方に研究成果として載ることとなりました。

進路について

就職と迷いましたが、私は大学院への進学を選びました。理由としては、コロナ禍ということもあり、自分がやりたかった研究や学びたかったものを満足に学習できていないと感じたことや、今の自分が社会に出ても満足なパフォーマンスを発揮できないのではないかと不安を感じたためです。現在は、大学院の講義を先取りしているのですが、学部の講義よりハイレベルな内容を勉強することができています。また研究の方では、新たに興味を持った分野の勉強をすることができています。そのためこれからの2年間も精一杯頑張りたいと思います。




各キャンパス学生相談室 利用案内

※相談は予約制となっております。

※10月下旬の開室時間です。予約をされる際は、改めて開室時間のご確認をお願いいたします。

東京千住キャンパス【2号館3階20308A室】


 **03-5284-5346(直通)**

 **ko-gakuso@cck.dendai.ac.jp**

曜日	時間	担当カウンセラー
月曜日	10:00 ~ 20:00	勝倉りえこ 高橋拓己
火曜日	10:00 ~ 20:00	小林美登 勝倉りえこ 中村久美
水曜日	10:00 ~ 18:30	小林美登 田中千穂
木曜日	10:00 ~ 18:30	前田綾子 金築智美 中村久美
金曜日	10:00 ~ 18:30	前田綾子 高橋拓己 今野紀子

※東京千住キャンパスでは、対面またはZoomでの対応となります。

埼玉鳩山キャンパス【本館(10号館)1階116室】

 **049-296-3794(直通)**

 **ri-gakuso@jim.dendai.ac.jp**

曜日	時間	担当カウンセラー
月曜日	10:30 ~ 15:30	大本良子
	12:30 ~ 17:30	近藤奈奈子
火曜日	10:30 ~ 17:10	福重 恵
	12:30 ~ 16:00	大本良子
	18:20 ~ 20:00	山口正二
水曜日	10:30 ~ 17:00	大本良子
	12:30 ~ 17:30	福重 恵
木曜日	11:30 ~ 16:30	近藤奈奈子
	12:30 ~ 17:30	橋本 優
金曜日	10:30 ~ 15:30	大本良子
	12:30 ~ 17:30	近藤奈奈子

※埼玉鳩山キャンパスでは電話またはZoomでの対応となります。

令和2年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援」の用途区分で募金活動を行い、1,485件、83,126,850円(内ご父母201件、5,948,173円)のご寄付を賜りました。

また、令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によって経済的に困窮した学生・生徒への支援策として、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援金」へのご協力をホームページ等を通してお願いしたところ、大学院、大学、高等学校、中学校に在学する学生・生徒のご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員・元教職員や一般賛

同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜りました。皆様からのご厚志に心より御礼申し上げます。

今後とも、本学園に対しまして、ご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、サポート募金を原資として実施した各事業につきまして、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長
学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
石塚 昌昭

1. 東京千住キャンパス5号館「ものづくりセンター千住」活動報告

「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化するための施設として、東京千住キャンパス5号館竣工と同時に「ものづくりセンター千住」を開設し、5年目を迎えました。安全講習・加工講習など、各種講習会の開催やプロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談の実施を通じ、学生の技術的思考の涵養・学生主体のものづくりを支援するための教育を推進しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動が制限されましたが、安全講習のオンライン実施、加工委託サービス対象範囲の拡大の施策により、平時と同様に支援を行うことができました。

また、利用者の多い3Dプリンタ、利用者の声を反映し超小型マシニングセンタ、ドリル研磨機等の機械装置を購入し、施設・設備の充実を図りました。

今後も最新鋭の測定装置等を導入し、センターの充実を図るとともに、地域と連携した取り組みを行ってまいります。



3D プリンタ



超小型マシニングセンタ



加工の一例：ワイヤ放電加工品

2. 奨学金の充実

(1) 大学

平成28年度からサポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金」を開始いたしました。

本奨学金は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限り25万円を給付いたします。

なお、採用された学生は、大学主催の学生行事に「学生ボランティアスタッフ」としての参加が義務づけられていることが特色です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、ボランティアスタッフとしての活動は行いませんでしたが、14名の学生に奨学金を給付いたしました。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受け、家計が急変した学生の支援を積極的に行ってまいります。

(2) 中学校・高等学校

「学校生活支援奨学金」として、人物・学業ともに優秀であるにもかかわらず、家計急変などの事情により、本校での修学が困難な生徒の学費以外の費用を支援いた

します。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受け、家計が急変した生徒の支援を積極的に行ってまいります。

奨学金受給学生からの感謝の声

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、父の収入が大幅に減少し、現在、公的支援を受けている中で、父親が体調を崩し入院、退院後も通院と入院が必要でその費用負担が大きく、母親の収入だけでは厳しい状況でした。この度はご支援をいただき大変助かりました。有難うございました。将来就きたい仕事を目指し、知識や技術を身に付けるために大学院への進学を検討したいです。
- 母が亡くなり、その後、父が病気で収入が減少した中で、さらに台風で家屋が被災(一部損壊)し、修繕費用が掛かる中、採用いただき、学費の一部に充てることができました。有難うございました。今後は建築士やインテリアプランナー等の資格取得を目指したいです。

3. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を平成27年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在学中で学長賞の受賞者のうち、学部在学中に英語圏の大学等に海外留学(単位取得)を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、1名の学生がオーストラリアのクイーンズランド工科大学へオンライン留学し、72単位を取得しました。

令和2年度

東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム留学生からの報告

新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら授業はオンラインとなりましたが、学習システムには感銘を受けました。授業では学生同士で意見交換する機会が多く設けられました。

また、ウェブサイトでは学習資料、ライブ授業のリンク、ビデオ録画視聴など分かりやすく提供され、大変良い学習環境で勉強することができました。

これからの新学期にも神山奨学金の感謝を胸にし、より一層学業に努め目標に向かってチャレンジし続けます。



4. 東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を平成30年度から開始いたしました。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としております。

なお、採用された学生は、大学行事(オープンキャンパス等)に「学生ボランティアスタッフ」として協力することが特色です。

令和2年度は、74名の学生に奨学金を給付いたしました。



東京千住キャンパス
5台設置



埼玉鳩山キャンパス：2台設置 東京小金井キャンパス：2台設置

5. 東京電機大学中学校・高等学校深井綾教育研修特別奨学金

故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学中学校・高等学校 深井綾教育研修特別奨学金制度」を平成30年度から開始いたしました。

本制度は、中学校・高等学校に在学する生徒のチャレンジ精神に火をつけ、国内研修および国外研修に積極的に参加することを目的としております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、シアトルホームステイ、カンボジアボランティアツアー、陸前高田スタディツアー、カナダ短期留学等のプログラムが中止となりました。

6. 施設・設備の充実

新型コロナウイルス感染予防対策として、非接触で発熱者を検知するAIサーマルカメラを導入いたしました。

このカメラは、同時測定可能人数は20名で、AIにより顔面判定し、マスク着用時もカメラの前を通過すると自動測定された体温が画面に表示され、設定以上の体温の場合、音声とフラッシュで警告します。

各キャンパスの入口に設置し、入館者自らの体温確認と新型コロナウイルス対策に大きく寄与しています。

(1) 埼玉鳩山キャンパス

令和元年度に第2食堂「komorebi」の改修工事を行いました。令和2年度は、学生が快適に食堂を利用できるようトレイディスペンサー、トレイ、麺類用のどんぶり、冷水器用のコップ等の什器を購入いたしました。



トレイディスペンサー



什器類



(2) 東京小金井キャンパス

中学校・高等学校では、雨天時における床面の被水防止対策として、「しずくりーん」6台を購入いたしました。



1階 正面入り口



7. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の43団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス(13団体)

- アマチュア無線部 ●IDCロボコン ●空手道部
- 管弦楽部 ●グリークラブ ●剣道部
- コーストジャズオーケストラ ●合同体育祭
- 自動制御研究部 ●吹奏楽部 ●ソフトウェア研究部
- 卓球部 ●鉄道研究部

(2) 埼玉鳩山キャンパス(9団体)

- eスポーツ同好会 ●硬式庭球部 ●軽登山部
- JAZZ研究会部 ●TDUスペースプロジェクト
- ヒューマノイド研究部 ●放送委員会
- 理工学部軽音楽同好会 ●理工学部体育会

(3) 東京小金井キャンパス(21団体)

- 科学部 ●硬式テニス部(中学) ●ゴルフ部
- コンピューター部 ●サッカー部(高校)
- サッカー部(中学) ●少林寺拳法 ●柔道部
- 女子バレーボール部(中学) ●将棋クラブ
- 水泳部 ●吹奏楽部 ●卓球部
- 鉄道研究部 ●バドミントン部 ●放送部
- 漫画美術同好会 ●無線部 ●ラグビー部
- 歴史研究部 ●野球部(高校)

8. 寄贈

株式会社ソディック(代表取締役社長 古川健一)様より、3Dプリンタ金型技術を活用した新型コロナウイルス感染症予防に有用なフェイスシールド1万3,000個の寄贈をいただ

きました。

株式会社ソディックと本学園は、ソディックの創始者で前会長 故古川利彦様が本学園の卒業生であり、本学の名誉博士でもある関係から、教育・研究に常日頃からご支援をいただいております。

寄贈いただきましたフェイスシールドは、学生・生徒の安全を一番に考え実験・実習等で有意義に使用させていただいており、今後も、ものづくりに強い人材の育成に努めてまいります。



ものづくりセンター千住のソディックスペースの前で
本学石塚昌昭理事長(左)と株式会社ソディック古川健一社長(右)

9. その他の事業に対する主な寄付

- (1) ME(生体医工学)講座の推進
- (2) 健康相談室に対する支援
- (3) 工学部第二部の教育・研究に対する支援
- (4) 産学連携・社会連携事業に対する支援
- (5) 東京千住キャンパスの研究、設備の充実
- (6) グランドピアノの購入
- (7) 未来科学部 情報メディア学科の施設・設備の充実
- (8) ものづくりセンターの施設・設備の充実
- (9) 留学生に対する支援



★ 2つの学生団体よりサポート募金の使用用途の報告

鉄道研究部 (東京千住キャンパス)

鉄道研究部では、鉄道に興味のある26名で、学園祭「旭祭」の参加を始め、夏合宿、鉄道模型レイアウト(Nゲージ)の製作、路線データ作成等、主に鉄道のことを中心に様々な活動をしています。合宿先では、車庫見学や貸切運行を行います。

今回のサポート募金は、旭祭等で展示するための鉄道模型や今後オンラインでの活動を行うにあたり必要なHDD(Hard Disk Drive)およびSSD(Solid State Drive)等の購入費用に充てました。



<https://youtu.be/DCSs6ZpWwBk>

TDU SPACE PROJECT (埼玉鳩山キャンパス)

模擬惑星探査機(CanSat)を開発し、アメリカのネバダ州で行われる国際大会(ARLISS)に出場し優勝を目指しています。国内では種子島で開催される「種子島ロケットコンテスト」にも参加しています。

令和2年度は、種子島ロケットコンテストはオンラインでのプレゼンコンテストとなりましたが、今回のサポート募金は、モータードライバーやセンサーなどの電子部品の購入に充てました。

令和3年度は、国際大会(ARLISS)の代替として静岡県富士見市で開催される大会に出場予定です。



TDU ところとからだのサポート24

東京電機大学では、学生ひとりひとりが健康で安心した学生生活を過ごすことが出来るように、
本学学生と保証人の皆さまを対象とした「TDU ところとからだのサポート24」をご用意しています。

24時間電話健康相談サービス

- 熱が下がらない。どうしたらいいんだろう？
- スポーツの最中に怪我をした。応急手当の方法を教える。
- 夜間 / 休日などに受診できる医療機関を教える。
- 自分の体臭が気になる。
- 就学意欲がわかず、無気力だ。
- 人間関係で悩んでおり、精神的にまいっている。
- 自分に自信がもてない。
- 健康相談、医療相談 など。

☎0120-304-210

受付時間

24 時間・年中無休・相談無料

ご利用に際して
※学生ご本人と保証人の方がサービスをご利用になれます。
※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
※携帯電話からもご利用になれます。
※匿名でもご利用になれます。



メンタルヘルスの カウンセリングサービス

- 大学に馴染めない。学校へ行きたくない。
- 授業に集中できない。
- 友だちと上手くコミュニケーションがとれない。
- 気になることが頭から離れなくてなかなか寝つけない。
- 夜中や早朝に目が覚めてしまい熟睡した感じがしない。
- 元気がない友人がいて心配だ。
どう接したらいいんだろう。
- 環境が変わってから何となく落ち着かない。

☎0120-304-210

<https://t-pec.jp/websoudan/>

- ユーザー名：webhotline3c
- パスワード：shien5g

受付時間

- カウンセリング受付（相談無料）
電話：9:00～22:00（年中無休）
WEB：24 時間・年中無休（返信は数日を要します）
- 面談カウンセリング受付（年間5回迄無料）
電話：月～金 9:00～21:00
土曜 9:00～16:00
（日曜・祝日・12/31～1/3を除く）
WEB：24 時間・年中無休
（受付後、日程調整のお電話をさせていただきます）

ご利用に際して
※学生ご本人と保証人の方がサービスをご利用になれます。
※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
※その他、ご利用に際しての諸条件がございます。お電話にてお気軽にお問い合わせください。

<各キャンパス学生厚生担当から保証人様へのお願い>

【自然災害における人的被害・家屋被害にあわれた方へ】

自然災害の被災状況の確認を行っております。被災された際（家屋の被害等含む）には、所属する学部・研究科の学生厚生担当へご連絡いただきたく、お願いいたします。

メールマガジン登録方法

後援会では、年3回の『学苑』の発行に加え、サービス向上を目指し、ご父母の皆様へ向けたメールマガジンを配信しております。

メールマガジンでは、『学苑』でお伝えできなかった情報や緊急連絡など、様々な情報を時期を問わず随時配信してまいりたいと考えております。

【ご注意】

携帯電話のアドレスをご登録・ご利用の場合、メールマガジンが配信されない場合があります。事前にメールが受信できるようにドメイン受信設定変更をお願いいたします。

▶ tdumm@sclpa.jp

その他詳しくは後援会ホームページもあわせてご確認ください。

■空メールを使った登録

1. パソコンや携帯電話のメールを利用し以下のアドレスに空メールを送信します。

tdumm@sclpa.jp

2. 返信されたメールを受信し、表示された URL に接続します。

3. 表示された利用規約をご確認いただきます。

- [同意します] をクリックしなければ次の画面に進めません。
- 登録をやめる場合は画面を閉じてください。

4. 個人情報の入力を行っていただきます。

- メールアドレス等入力間違いがないようご注意ください。
- 「学籍番号」は『学苑』をお送りした際の宛名ラベルに記載のある7ケタの英数字です。
(例：00XX000)
- 全ての項目の入力が終了したら [確認] ボタンをクリックしてください。

5. 入力した内容を確認していただきます。

- 間違いが無ければ [この内容で登録します] をクリックしてください。
- 修正がある場合は前の画面に戻って入力しなおしてください。

6. 登録完了の画面が表示されます。

7. 登録されたメールアドレス宛に登録完了メールが配信されます。

■ホームページを使った登録

1. パソコンや携帯電話のブラウザを利用し下記 URL を入力してください。

<https://www.umcnavi.jp/tdu/mm/>

2. 以下、空メールを使った登録の手順 3. 以降に従い登録してください。

■QRコードを使った登録

1. 携帯電話のカメラを起動します。
2. メニュー（もしくは機能）からバーコードリーダー（もしくはQRコード認証）を選択してください。
3. 右のQRコードを撮影します。
4. 表示された URL に接続します。
5. 以下、空メールを使った登録の手順 3. 以降に従い登録してください。



大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれています。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム、情環	東京千住キャンパス事務部（教務担当）	03-5284-5333
●理工	理工学部事務部（教務担当）	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム、情環	学生支援センター（学生厚生担当）	03-5284-5340
●理工	理工学部事務部（学生厚生担当）	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム、情環	学生支援センター（キャリア支援・就職担当）	03-5284-5344
●理工	理工学部事務部（学生厚生担当）	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	入試センター	03-5284-5151
------	--------	--------------

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	経理部（会計担当）	03-5284-5131
------	-----------	--------------

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	国際センター	03-5284-5208
------	--------	--------------

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	後援会事務局（学生支援センター（学生厚生担当））	03-5284-5340
------	--------------------------	--------------

※工=工学部、工2=工学部第二部、
理工=理工学部、情環=情報環境学部、未来=未来科学部
システム=システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせ下されれば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第160号 (非売品)

2021年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 庄本 玲子

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局

(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>